

生徒の自殺の危険に気付き 速やかな支援につなげるために



群馬県教育委員会

気付く

生徒の変化にいち早く気付くことが支援の第一歩。
情報共有を図りながら、生徒の変化を見逃さない体制をつくる。
以下の項目に加え、発達障害や精神疾患を抱えていると思われる
生徒については、特に注意深く観察することが大切。

危険行動に関連するサイン

生徒に「普段と違った言動」が現れた際には特に注意が必要です。以下に挙げた例に気付いた場合には、気付いた教職員
が一人で抱え込まずに、関係する教職員と情報共有を行いながら、「複数の目」をもって対応することを心掛けましょう。

- ① これまで関心のあった事柄に対して興味を失う。
- ② 注意力が低下し、集中できなくなる。成績が急に落ちる。
- ③ いつもなら楽々できるような課題が達成できない。
- ④ 不安やイライラが増し、落ち着きがなくなる。
投げやりな態度が目立つ。
- ⑤ 身だしなみを気にしなくなる。
- ⑥ 健康や自己管理がおろそかになる。
過度に危険な行為に及び、実際に大怪我をする。
- ⑦ 不眠、食欲不振、体重減少等の様々な身体の不調を訴える。
- ⑧ 自分より年下の子どもや動物を虐待する。
- ⑨ 学校に通わなくなる。友人との交際をやめて、引きこもりがちになる。
家出や放浪をする。
- ⑩ 乱れた性行動に及び。
- ⑪ 自殺にとらわれ、自殺についての文章を書いたり、
自殺についての絵を描いたりする。

(「自殺の危険が高まった生徒への危機介入マニュアル」R4年8月群馬県教委発行、4ページ参照)

関わる

生徒の変化に気付いたら、寄り添って関わるのが大切。
以下のような姿勢を意識し、悩みや不安を抱える生徒に関わる。
気になる生徒については、日頃から情報共有を図り、生徒の背景
(家族構成・生育歴・発達特性等)などを承知しておくとうい。

話を「聴く」ことの重要性

生徒の変化に気付いたら、以下に示す「TALKの原則」を意識しながら、教職員の側から積極的に声を掛けてみましょう。
「なんだか辛そうだけど、大丈夫?」「先生に手伝えることはない?」など、あなたのことを「気に掛けている」という
メッセージが伝わると、それだけでもリストカットなどの自殺関連行動の大きな抑止力となります。傾聴することの意味
の一つは、生徒自身の「語り」を促すことです。傾聴する際、聴き手である教職員は、以下のような姿勢を意識すると、
「よい支援者」として生徒からの信頼を得ることができるでしょう。(「危機介入マニュアル」4ページ参照)

- ① 良い・悪いは評価せず、生徒の言うことにじっと耳を傾け、辛さや苦しみを「受け取る」。
- ② 相づちや頷き、話してくれたことへの労い等は、辛さや苦しみを「受け取ったサイン」になる。
- ③ 教職員の傾聴＝生徒の語りの促しは、生徒が「自分で自分を整える支援」であることを意識する。
- ④ 生徒が混乱した場合のみ、考え方のモデルやアドバイスを「シンプル」に「少しだけ」提示する。
- ⑤ 説得や命令、禁止、励まし等は、概して援助にならない。



【「TALKの原則」とは】(「危機介入マニュアル」6ページ参照)

自殺の危険が高まった生徒への対応に当たっては、以下の4つのことが求められます。

- ① **Tell** : 言葉に出して心配していることを伝える。
- ② **Ask** : 「死にたい」と思うほど辛い気持ちの背景にあるものについて、率直に尋ねる。
- ③ **Listen** : 絶望的な気持ちを傾聴する。
- ④ **Keep safe** : 安全を確保する。(危険と判断したら、まず一人にしないで寄り添い、支援者も
一人で抱え込まずに他からも適切な援助を求めるようにする。)



支える

一人で抱え込まずに危機対応チーム
でスクリーニングを行い、組織的に
支援策を検討することが大切。

危機対応チームで「初期対応」
に移行するかをスクリーニング

(重篤なケース
と判断)

(軽微なケース
と判断)

危機対応チーム
による「初期対応」
(保護者や関係機関等との連携)

学校と家庭で
経過観察
(保護者等との連携)

生徒に変化が見られた場合は、教職員が一人で抱え込むことなく、組織的に支援策を検討することが大切です。生徒に変化があったことを誰に伝えるべきか、日頃より、校内における報告・連絡体制を確認しておきましょう。変化に気付いたその日のうちに危機対応チームでスクリーニング(ふるい分け)を行い、重篤なケースは危機対応チームで、軽微なケースは保護者と連携して、速やかな支援につなげましょう。

なお、「継続的な支援」や「ケース会議」の実施については、「危機介入マニュアル」の7ページ、13ページを参照しましょう。

※「初期対応」については、「危機介入マニュアル」の5ページを参照してください。